インドにおける新オフィス開設と迅速な拡大計画により、ウォッチガードのサイバーセキュリティイノベーションが加速

ノイダの新オフィスは、引き続きウォッチガードのUnified Security Platformアーキテクチャの重要なエンジニアリングハブとして、製品管理、DevOps、UX、IT、人事などにフォーカスした事業部門を拡大

2023年9月8日（金） ー
企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ／セキュアWi-Fi／多要素認証／エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーであるWatchGuard（R）Technologiesの日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表執行役員社長 谷口
忠彦、以下ウォッチガード）は、インド市場でのプレゼンスをさらに拡大するため、ノイダ（Noida）のオフィスを新設し、同地域での積極的な採用計画を進めていくことを発表しました。ウォッチガードは2018年にノイダにオフィスを開設し、クラウドでの実装にフォーカスしたエンジニアリングチームを擁し、年末には従業員が30名まで増加しました。今日、チームの従業は100名を超えており、製品管理、DevOps、UX、IT、エンジニアリング、人事など多くの事業部門を抱えています。ノイダのオフィスは、ウォッチガードのUnified Security Platform（R）（統合型セキュリティプラットフォーム）アーキテクチャの開発拠点として、エンジニアリングのコアとなるハブの役割を担い続けており、来年には従業員の倍増を計画しています。

ウォッチガードのCEO、Prakash Panjwani（プラカッシュ・パンジワニ）は以下のようにコメントしています。「インドにおけるウォッチガードのプレゼンスは高まっており、今後も当社のイノベーションを加速させる上で重要な役割を果たすでしょう。インドの研究開発チームは、マネージドサービスプロバイダー向けの最新のサイバーセキュリティデリバリの実践を向上させるスケーラブルなプラットフォームを構築する当社の取り組みに大きく貢献しています。2023年の成長計画をサポートするため、オフィススペースを拡張し、複数の部門で人材を採用することで、インドにおけるチームの継続的な成長を支援できることをうれしく思います。」

ウォッチガードは1996年に設立され、25年以上に渡ってサイバーセキュリティ分野で一貫したイノベーションと成長を牽引してきました。今日、サイバーセキュリティプラットフォームのリーディングプロバイダーとして知られるウォッチガードは、セキュリティサービスのあらゆる側面を簡素化する強力なプラットフォームの提供を通じて、MSPのセキュリティを再定義することに専心しています。ウォッチガードのUnified Security Platform（統合型セキュリティプラットフォーム）は、ネットワークセキュリティ、エンドポイントプロテクション、多要素認証、セキュアWi-Fiの一元的な導入と管理を可能にします。このプラットフォームは、セキュリティのサイロ化を解消し、強力な統合、ナレッジの共有、そして自動化を活用することで、合理化されたシンプル

な管理で、より高いセキュリティ効果を発揮します。現在、ウォッチガードのUnified Security Platform（統合型セキュリティプラットフォーム）は、17,000社を超えるセキュリティの販売代理店やサービスプロバイダーが、世界25万社以上のシステム環境、ユーザー、ネットワークを保護するために利用されています。

ウォッチガードのインドセンターオブエクセレンス担当バイスプレジデント兼カントリーオペレーションマネージャであるAwanti
Singhは、以下のようにコメントしています。「チームワークとコラボレーション、そしてお互いを思いやり、パートナーやお客様を大切にするウォッチガードの強力な文化を反映したチームをインドで構築できたことを誇りに思います。インドのチームにとっても、会社全体にとっても、新たな成長段階に乗り出すにあたり、MSPのセキュリティデリバリを再定義し、顧客をより良く保護するために、市場を変えるイノベーションを推進し続ける絶好の機会だと言えます。」

ウォッチガードは7カ国で事業を展開し、21カ国に直接進出しており、世界中で1,200人以上の有能な人材を擁しています。ノイダの新オフィスの住所：WatchGuard Technologies India Pvt. Ltd, Unit No 801, 8th floor, Tower A, Advant IT Park, Plot No 7, Sector 142, Noida, 201305

【WatchGuard Technologiesについて】
WatchGuard (R) Technologies,
Inc.は、統合型サイバーセキュリティにおけるグローバルリーダーです。ウォッチガードのUnified Security
Platform (TM) （統合型セキュリティプラットフォーム）は、マネージドサービスプロバイダー向けに独自に設計されており、世界トップクラスのセキュリティを提供することで、ビジネスのスケールとスピード、および運用効率の向上に貢献しています。17,000社を超えるセキュリティのリセラーやサービスプロバイダーと提携しており、25万社以上の顧客を保護しています。ウォッチガードの実績豊富な製品とサービスは、ネットワークセキュリティとインテリジェンス、高度なエンドポイント保護、多要素認証、セキュアWi-
Fiで構成されています。これらの製品では、包括的なセキュリティ、ナレッジの共有、明快さと制御、運用の整合性、自動化という、セキュリティプラットフォームに不可欠な5つの要素を提供しています。同社はワシントン州シアトルに本社を置き、北米、欧州、アジア太平洋地域、ラテンアメリカにオフィスを構えています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多彩なパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズに応えるソリューションを提供しています。詳細はhttps://www.watchguard.co.jpをご覧下さい。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向はX（旧Twitter）（@WatchGuardJapan）、Facebook（@WatchGuard.jp）、をフォローして下さい。また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法はSecplicityJPまでアクセスして下さい。
SecplicityJP： https://www.watchguard.co.jp/security-news

WatchGuardは、WatchGuard Technologies,
Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com